

## 研究課題名「生物学的製剤使用関節リウマチ患者における呼吸器有害事象に対する胸部 CT 所見の予測的価値の検討」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2005 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日に当院整形外科で関節リウマチに対して生物学的製剤（レミケード、エンブレル、ヒュミラ、アクテムラ、シンポニー、オレンシア、シムジア）による治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

関節リウマチ患者様は呼吸器（気管支・肺）の病気を合併しやすいといわれており、生物学的製剤という免疫抑制剤を使用するときには肺炎や気管支炎の発症に対し注意深い経過観察が必要です。この研究は生物学的製剤治療開始時の胸部 CT の結果が、その後の治療経過において、肺炎や気管支炎の発症と関連があるかどうかを検証するためのものです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、生年月日、病歴、血液検査結果、胸部 CT 画像、疾患活動性（DAS スコア、SDAI スコア）、肺炎等の呼吸器関連副作用の発生状況 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 整形外科学 医局 松本 拓也

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話 052-744-1908

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 整形外科学 講師 小嶋 俊久